令和２年度　小林市立南小学校　学校関係者評価書

評価段階　４：期待以上　　３：ほぼ期待どおり　　２：やや期待を下回る　　１：改善を要する

学校経営ビジョン	○　一人一人主体的に「確かな力（知・徳・体・食）を身に付け、自信と誇りをもち、夢や希望の実現を目指す自立した人材を育成する。 ―　かしこく　やさしく　たくましく　―

〈知　育〉	○　主体的に学び、確かな学力を身に付ける子どもの育成

項目	本年度の重点目標と目標達成のための手段	結果の考察・分析及び改善策等	自己評価	関係者評価	学校関係者評価のコメント
知育	１　分かる・できる授業による学力向上	○コロナ感染対策のため、学び合いの活動は限られたが、考える時間は確保できるよう努めた。 ○デジタル教科書やタブレットを活用する回数が増え、指導の幅が広がった。 ○チャレンジタイムは計画的に実施でき、習熟度が増した。	３	３．２	・デジタル教科書やタブレット導入により、時代に合った教育を行っている。 ・デジタル教科書の活用は期待するが、将来デジタル教科書だけの授業になっていくのだとしたら不安も感じる。 ・コロナ感染対策のため、学び合いの活動が限られ考える時間があまりなく、苦労されたのことで大変だったと思う。
	２　校内研修等を中心にした授業の相互公開（三校合同研修の充実）	○全員公開授業を予定通り実施し、意見を交換することで、授業改善へとつながった。	３	３．２	・先生方は大変かもしれないが、共通理解、共通実践、公開授業は子どもたちにとってとても大切な認識になる。
	３　家庭学習・読書活動の充実と習慣化	○家庭学習、読書活動の様々な手立てをとったが、取組に個人差が見られた。 ○個に応じた指導、対策を再考する必要がある。	２	２．２	・本を読むことはとても必要な習慣だと思う。読書は０才から培っていくものだと思う。 ・読書の木の取組は大変よい。 ・タブレットやユーチューブ等にふれる時間が多い時代だからこそ家族と協力して読書の時間を作ってもらいたい。 ・南小に限らず今の子どもは本を読む時間が少ない気がする。 ・同じ学年でも担任の先生によって宿題の量が違い、学力に差が出るのではと心配している。
	４　キャリア教育の推進	○年度途中からの取組だったため、十分活用できなかった。来年度は年度初めから計画的に取り組む必要がある。	２	２．２	・将来なりたい自分をもって勉強することは必要である。 ・キャリア教育に外部講師を呼んでもらいたい。 ・南小まつりでキャリア教育につながる活動を取り入れてもよい。